

価値創造への思い

豊かな「食」を提供することにより、心身共に「健康」をお届けすることを、創業以来、変わらず追求し続けてきました。
大地の恵みである穀物を余すことなく生かし、安全・安心な「食」を、人々に提供しています。

過去

『農産報国』

昭和初期の日本は、慢性的な食糧不足と、それに追い打ちをかけるような凶作が続き、極めて厳しい状況にありました。

「食を通じて人々の暮らしを豊かにしたい」という創業者の強い思いが、昭和産業グループの原点です。

現在

事業活動を通じた マテリアリティへの取り組み

〈2023年度からの新しいマテリアリティ〉

1. 食を通じた事業活動での貢献

- ① 安全・安心で高品質な食の提供
- ② 消費者の健康と多様化するニーズへの貢献

2. 穀物を生み出す大地とその環境の維持

- ③ 地球環境への配慮

3. ステークホルダーとのエンゲージメント推進

- ④ 人財活用
- ⑤ 地域社会との共生
- ⑥ サプライチェーンと連携した活動
- ⑦ ステークホルダーとの信頼関係構築

📄 マテリアリティについて詳しくはP.29



マテリアリティと連動する「中期経営計画23-25」

2025
年度

長期ビジョン

『SHOWA Next Stage for 2025』

📄 詳しくはP.33

2035
年度

新たな長期ビジョン 策定中

昭和産業は、2036年2月18日に創立100周年という大きな節目を迎えます。
当社グループが、将来にわたって引き継ぐべき「存在意義」、「使命」、「価値」、「未来像」等を徹底的に議論し、変化する時代の中で当社グループの持続的な成長、企業価値向上を実現するための“羅針盤”となる長期ビジョンを策定します。

未来